

平成 28 年度第 2 回一般選抜入学試験問題（都市経営学研究科）

専門科目問題

(90 分)

※専門科目は一般選抜で受験した場合のみ受験科目となります。

以下のA（計画・環境系 A-1～A-3）およびB（経済・社会系 B-1～B-3）の設問群から、それぞれ1問ずつ選んで解答しなさい。

A（計画・環境系）

A-1 津波災害の発生が予想される場合、これまでは原則として徒歩による避難が求められていた。しかし、東日本大震災の教訓を受けて、車による避難を一部認める方針に転換しようとしている。車による避難を認めた場合に生ずると考えられる問題点を挙げ、その解決策を考えよ。

A-2 都市景観の議論では、屋外広告物の問題は避けられない。定量的な視点から屋外広告物の規模、密度、総量の3点について、「どのような問題」が「なぜ」生じており、それらの解決策として「どのような手法」が考えられるか述べよ。

A-3 近年、建築物等の高さをコントロールする都市が増えてきている。都市計画又はまちづくりの観点から建築物の高さを規制又は誘導する法制度を3つ挙げ、それぞれの内容を説明せよ。

B (経済・社会系)

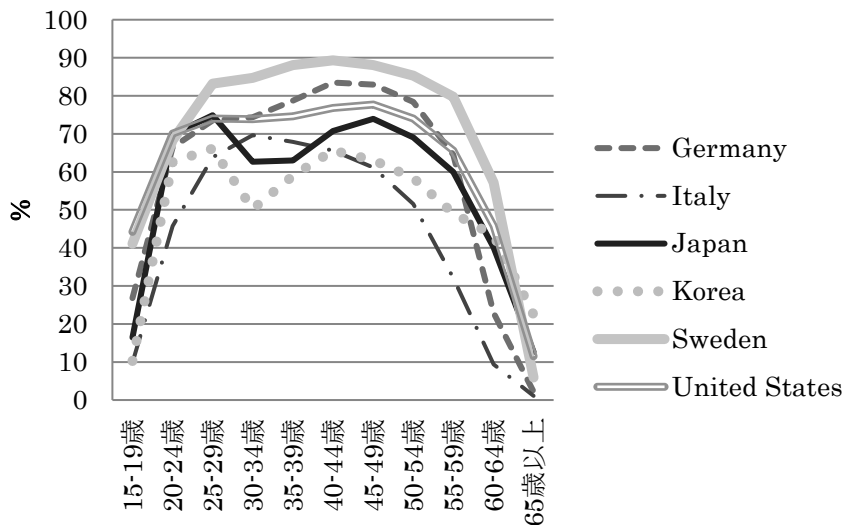
B-1 都市社会学 (シカゴ社会学) について, その形成の背景と特長を述べよ。尚, 「バージェス」「セツルメント運動」のことは文中で説得的に用いること。

B-2 トヨタ生産方式について述べ, その革新性について言及しなさい。以下のキーワードをすべて使って記述すること。

キーワード: MARP, 範囲の経済, 規模の経済, JIT, かんぱん方式, 平準化, 在庫回転率, スマイルカーブ

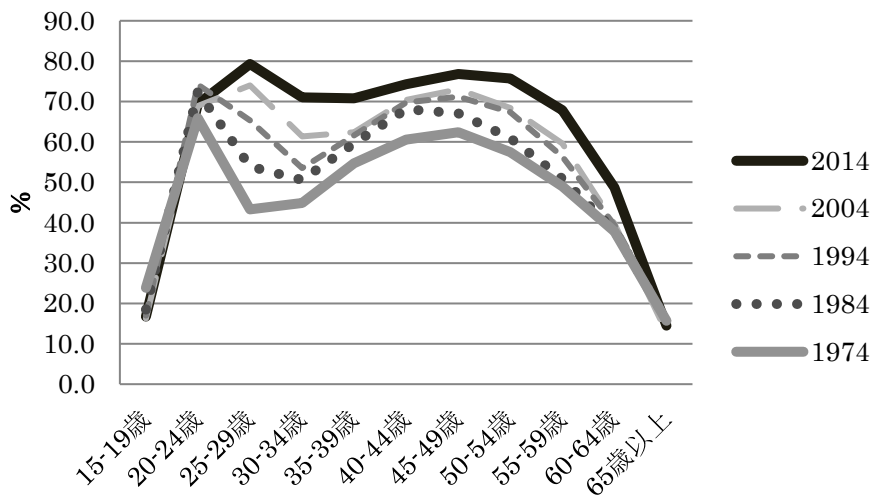
B-3 次の図を見て, 下の問に答えよ。

- 1) 国際比較と時系列変化の観点から, 日本における女性の年齢階層別労働力率の特徴を明らかにせよ。ただし, 年齢階層別労働力率は, 各年齢階層の労働力人口 (就業者数+完全失業者数) を各年齢階層の人口で除すことで求められる。
- 2) 1) で論じた特徴のうち, 国際比較と時系列変化の中からそれぞれ1つずつ, そうした特徴を生じさせている社会経済的背景について明らかにせよ。



出所) OECD Labour Force Statistics by Sex and Age Indicators, 2015.

図1 女性の年齢階層別労働力率に関する国際比較 (2005年)



出所)「平成27年労働力調査結果」(総務省統計局)を加工して作成

図2 日本における女性の年齢階層別労働力率の推移

(問題は以上です。)